

元町公園、旧元町小学校の保全活用 区は、区民の意見を生かした計画を！

4人の有識者が1年をかけて検討していた元町公園・旧元町小学校の保全・有効活用に関する提言がまとまり、6月26日の総務区民委員会で、報告されました。

この議論のなかで関川区議は、有識者の提言の議論にもあるように、元町公園、旧元町小学校がどういう価値があるのか、2004年に都の都史跡等整備検討委員会から、元町公園が都の名勝

指定候補にあげられていたこと、関東大震災後、ただちに設置された52箇所の中でよく保存されている唯一の公園、小学校であり、多面的価値を有する文化財として貴重であることなど、文章にして多くの人に知らせていくことをまず行なうべきであることを、主張しました。

そして、区の予定である年内に事業者プロポーザルの検討、年明けに公募と事を進めていく



元町公園にて

のではなく、区のビジョンを示し地元住民や区民の意見を充分に取り入れた保全と、活用になるよう求めました。

本郷台中学校

特別教室にクーラーの設置が実現

本郷台中学校などの特別教室に7月からクーラーが、設置されました。これですべての小中学校の、普通教室、特別教室にクーラーが設置されたことになります。関川区議は、文京区議

団と一緒に区内の小中学校の校舎や施設などの調査を重ね、何回もの議会論戦によって、また、PTAの方々とも力を合わせ、実現への道を切り開いてきました。

本郷第3育成室 民間に委託せず 区職員で対応を

かねてより本郷地域の育成室の受け入れの子どもたちの人数が多くなり、何とかしてほしいという声が、私たちのところにも寄せられていました。区は、今年の4月から、1年生14名を受け入れるため、本郷小学校の中の地域開放室などの空き室を利用して、本郷第3育成室をオープンさせました。

しかし、運営は特命随意契約によって「ベネッセ」に委託となっていました。育成室の料金は現在1ヵ月7000円とおやつ代がかかっていますが、区は



視察する関川けさ子区議ら

来年度から料金を10000円に引き上げる計画です。料金ばかりが引き上げられ、学童保育の質が下げられるようでは、区の掲げている「子どもたちへの応援歌」とは、ならないのではないのでしょうか。

本郷小学校の免震装置に、データ不正が発覚した東洋ゴムの製品が使用されていることが、明らかになりました。

本郷小学校免震装置 の一刻も早い交換を



国会では日本共産党の穀田議員が東洋ゴムの山本社長に対し質問し、経過を明らかにさせました。東洋ゴムが1992～2007年に断熱パネルの偽装を行い、その再発防止の最中だった2002年に免震ゴムの偽装を始めたことを認めさせ、賠償責任についても「対応する」と言及させています。

関川区議も、この問題を区議会「災害対策委員会」で取り上げ、子どもたちの学ぶ学校で二度とこのようなことが起きないように教育関係の課長の姿勢を正すとともに、一刻も早く免震装置の交換を行なうよう求めました。

日本共産党 文京区議会議員

関川けさ子の レポート

文京区本郷1-27-8-802
Tel.3817-8985 区議団控室5803-1317

どんなことでも
お気軽にご相談ください

法律・生活相談

第1・3木曜日
午後3時～5時
小竹ひろ子事務所にて
☎ 3814-1076
事前に電話でご予約下さい。

改選後初の 6月議会

戦争法案(安全保障法制の関連法案)廃案を 国に求める請願が採択！

6月30日の区議会本会議で、「国会で審議中の安全保障法制関連法案は、「憲法9条に反する」などとして国に廃案を求める請願が採択されました。

この請願は、文京平和委員会が提出し、26日の総務区民委員会で、自民、公明党の2人が反対。共産、未来、市民の計6人の賛成多数で採択されたものです。

いわゆる戦争法案に明確に反対の請願採択は23区では初めてです。世論調査でも法案「反対」「違憲」は過半数を超え、内閣「不支持」は43%で「支持」を上回る状況です(毎日)。追いつめられているのは「戦争法」と安倍政権です。

数の力の強行を許さぬ国民共同の世論と運動で「廃案、退陣」まで頑張りましょう。

高畑久子さんの談話

(文京平和委員会)

30日の本会議場では、請願を採択する、これまでと180度違う区議会を拝見しました。「安倍さんは怖い」と青年や学生が立ち上がり、子どもや孫を戦場に送らせないという子育て世代、高齢者の強い意思が議会を動かしたなど確信しました。

再び区議会へ 公約実現へ頑張ります さっそく区長に申し入れ

みなさんのご支援で、再び区議会で活躍の場を与えていただくことができました。区民のみなさんの悩みごとに寄り添い、少しでも役にたてるよう頑張ります。

5月21日には、公約実現のための申し入れを区長に行いました。(副区長が対応)

私の所属委員会は、災害対策委員会、地域振興・まちづくり委員会、常任委員会は総務区民委員会となりました。

いま、国会では、安倍内閣が95日という戦後最長の会期延長を行って、米国と一緒に戦闘地域に武器をもって自衛隊を派兵



後列左が関川けさ子区議

していく戦争法を何があんでも、通そうとしています。関川区議は、総務区民委員会で区がこの法案に対して、推移を見守るのではなく、国の命令で再び赤紙

を配るようなことにならないよう反対の意志表示をするよう求め、請願の採択を主張しました。この請願に反対したのは、自民党、公明党だけでした。

日本共産党文京区議団ニュース



第90号
2015年
夏号

☎5803-1317

ホームページ: <http://www.jcp-bunkyo-kugidan.gr.jp/>
Eメール: mail@jcp-bunkyo-kugidan.gr.jp

区政へのご意見・ご要望をお寄せ下さい。

柳町小増築問題、35人学級、保育士 処遇改善の請願採択！ 自・公は反対

今議会では、児童の増加で校舎を増築する柳町小学校の保護者や地域、歴代PTA会長等から出された、柳町小校庭面積を維持することを求める4請願が、共産・未来・市民の賛成で採択されました。心の拠り所の「やなぎの森」を守れという声を計画に反映するか、文京区の対応が注目されます。

他に、「新日本婦人の会」からの「35人学級を全学年に拡大する」ことを求める請願、保育士の処遇改善を求める請願が、共産・未来・市民の賛成で採択されました。自公は一貫して区民の声に背を向けました。

日本共産党区議団(7名)副議長を主張 議長は自民・副議長は公明に

4月の区議選の結果、自民9、共産7、公明5、民主4、諸派・無9と、議席増は自民と共産のみ。民主は、維新や無所属議員らで10人会派「ぶんきょう未来」を結成し、今後は議案等には「是々非々」で臨むと表明。

共産党は、「未来」については今後の動向を注視し、議長は「白票」を投じ、副議長選は第二会派となった共産から出すことを表明。投票結果、議長は自民(白石氏)、副議長は公明(松丸氏)と決しました。

公約実現にむけ区議会で奮闘！ 中学校の全特別教室にクーラー設置が実現

日本共産党

前倒しで6月工事、7月から快適授業

日本共産党区議団が求めてきた小中学校普通教室に続き全ての特別教室へのクーラー設置が実現しました。

昨年5月には26の小中学校を訪問し、同年6月の本会議で「暑い時期を迎える前に設置して欲しいとの要望に応えるべき…前倒しして実施を」

と求め、区側は「早急に使用できるよう設置する」と答弁していました。

今年6月本会議で福手議員の「設置工事の状況は？」との質問に、教育長は「6月末で工事完了する」と回答。実態調査や議会論戦により工事が早まりました。

今年工事の学校

一中	8教室
三中	7教室
八中	7教室
九中	9教室
十中	7教室
文林	9教室
本郷台	4教室



左より、金子、こうだ、いたくら、島元、関川、福手、まんだち区議＝議場にて

中学校教科書採択について

教育委員会の教科書採択の方針は公正かつ適正としています。

文教委員会では、「太平洋戦争は自存自衛の戦争であった」等、育鵬社や自由社の歴史教科書は事実と異なる記載があり、子どもたちが学ぶ教科書にはふさわしくない、教科書を使用する教師や子どもたちの声を一番大切にすべきと要望しました。

待機児童過去最高に庭のある保育所を

今年4月、どの保育も受けられない児童は昨年の104人を上回る132人とさらに深刻です。自治体には保育の実施義務があり(児童福祉法24条1項)、認可園を希望しながら認可外(認証、保育ママ、幼稚園預かり等)の保育を受けている児童を



加えた449人と新規申込者に対し、認可園を用意する責任がありますが、新設計画は3園で定員220人程度です。同時に、保育条件はどの子にも平等である必要があります。区は、取得した外務省宿舍跡地(千石3)に来年度誘致する私立園の事業者募集で園庭設置を条件にします。引き続き、園庭やプールのある認可園を求めていきます。

元町公園・旧元町小の保全活用 地元・区民意見を取り入れよ

有識者が一年かけて検討していた元町公園・旧元町小学校の保全・有効活用に関する提言が、六月の総務区民委員会で議論されました。提言では、関東大震災の復興小公園・小学校52のうち当時の姿を伝える唯一のもので、区が歴史性、防災性、公共性に配慮した保全活用を具体化するよう期待しています。しかし区は、区としての方針やビジョンも示さず、年内に事業者プロポーザルの検討、年明けに公募、そして選定、設計、30年度に工事着工と発表。これに対して「地元無視も甚だしい」と地元町会から、区長、議長に抗議文が出されました。区は、区民意見を充分に取り入れ保全と活用の具体案を責任もって示すべきです。



使用料などまた値上げに

育成室1万円、幼稚園1万3千円を提案

6月の総務区民委員会で「使用料、手数料の改定の考え方」が報告されました。3年前、財政の健全化と「受益者負担」を理由に、いっせいに施設使用料や駐輪場料金(3年間で12倍)、育成室・幼稚園保育料が上げられました。「3年ごとに見直す」と、消費税増税の転嫁を理由に来年度から更なる値上げです。

現行料金が区の使用料案より低い場合は、

上限20%でどんな値上げされ、その結果、区民施設の使用料は軒並み100~200円、シビックの区民会議室は最高800円の値上げです。さらに育成室保育料は月額1万円、幼稚園は13,000円が提案され、「子ども子育て会議」で検討が進められます。

区は9月にも条例改定を予定しています。「値上げストップ!」の声をあげましょう。

朗報 国有地の活用で特養ホーム整備!

新たな特養ホーム建設に向け、総合福祉センター北側台地の財務省小日向住宅跡地(約7100㎡・写真)を取得するため、区は国との協議を開始しました。また、難航していた春日2丁目の旧建設省宿舍跡地は、区が取得し100床規模の特養を計画しています。2017年4月開設予定の旧教育センター跡地(春日)の116



床に次ぐ計画ですが、500人を超える待機者の願いに応えるために、新たな用地確保が課題でした。茗荷谷の都バス車庫跡地も特養など区が活用するよう求めています。